

ORIENTE ARTE NATURA II

綿引幸造写真展
第8弾

『彫刻家

イサム・ノグチ & ドロミティ溪谷

世界遺産

』



2022年4月29日(金・祝)
～10月10日(月・祝)

開館時間 10:30～16:00

入場無料 期間中休館なし

綿引幸造「ⁱⁱ季の色」館
ギャラリー 神々の遊ぶ庭_内

〒076-0048

北海道富良野市清水山「カンパーナ六花亭」内

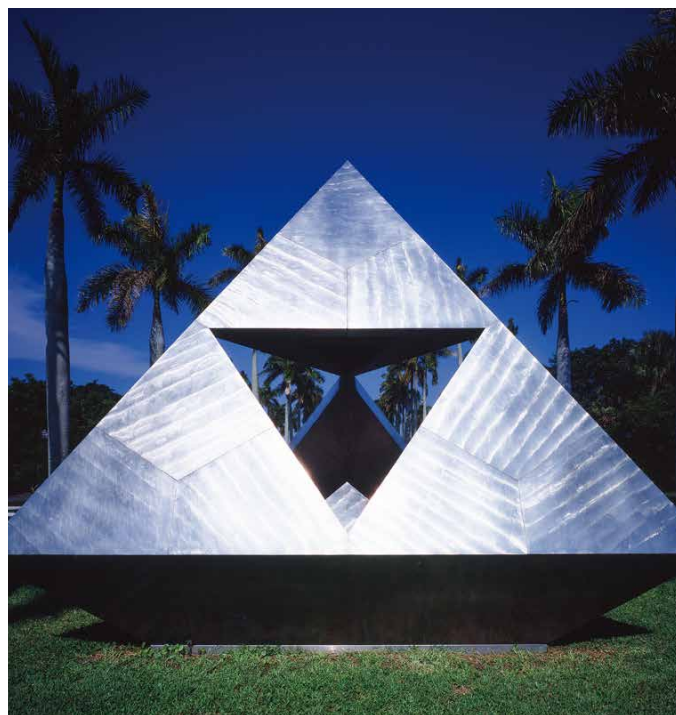
電話 0167-39-0006

写真(上)イサム・ノグチ「ホラス・E.ドッジ父子メモリアルの噴水」

(下)世界遺産ドロミティ溪谷「夕照に染まるラヴァレード」

企画・運営

六花亭



(左)彫刻家イサム・ノグチの「ブラック スライド マントラ」 (右)「インテトラ」



(左)世界遺産ドロミティ渓谷「花咲く湿原とロッカ・ノヴァレ」 (右)「新雪のモンティ・カディニと秋の樹林」

北海道を代表する写真家・綿引幸造にとって、2001年、イタリア・ミラノ市の宮殿アレngaリオでの個展は、最大規模で集大成となった。葛飾北斎に次いで日本人二人目という宮殿での名誉ある作品展示は、同国での4回の個展や権威あるホルス・シーコフ賞受賞にあと押しされて実現した。

‘60年風景写真家としてスタートしたが、彫刻家・安田侃の彫刻を撮影することで、イタリアとの縁が深まり、その後、世界的な彫刻家イサム・ノグチや九州・佐賀在住の人間国宝中島宏の陶芸へと幅を広げ、北海道の風景で培った「光」をいかに発揮し、綿引世界は揺るぎないものとなった。

160点を越す「ORIENTE ARTE NATURA」(東洋の芸術と自然)のパートⅡは、イサム・ノグチとイタリアの世界遺産ドロミティ渓谷。展覧会の盛況ぶりを伝える資料も展示、偉業に迫ります。



JR 富良野駅から車で10分・JR 学田駅から928m